

4 【視点4】学び合う場の工夫（言語活動の充実を目指す）

《学習過程の中に学び合う場を意図的に設定する》






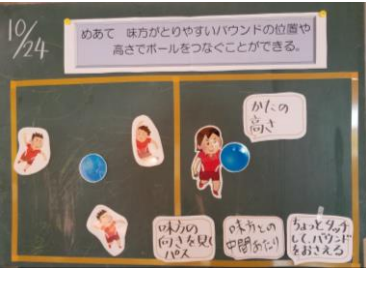

導入 → ① 「めあての確認をし合う時間」の設定（課題の共有）

展開 { ② 「伝え合い」を意図したグループ学習の展開
③ 直接的指導による伝え合う視点の焦点化・可視化・共有化（ICT機器やイメージ言葉、発見ボードの活用）

整理 → ④ できたことや次時への課題を整理する「ふり返りタイム」の設定

～第5学年「みんながENJOY! SUPERプレルボール!」(E ボール運動 イ ネット型)～

児童が自分の課題解決や本時のめあてを解決していく手立てとして、学習過程の中に学び合う場を意図的に設定した。児童同士のかかわり合いや言語活動の充実を図ることで、児童の運動への意欲を高め、児童自らが運動のこつやポイントに気づくことができるようにした。

導入	<p>①学習目標の提示</p> <p>本時のめあての提示 個人の課題の共有</p> <p style="background-color: #e0ffe0; padding: 2px;">単元計画表の提示</p>	 <p>私のめあては、「みんなで楽しくラリーを続ける」にしたよ。</p>  <p>今日のめあてを確認しよう。</p>
展開	<p>②グループでの課題解決場面の設定</p> <p>③直接的指導場面の設定</p> <p style="background-color: #e0ffe0; padding: 2px;">イメージ言葉の活用</p> <p style="background-color: #e0ffe0; padding: 2px;">発見ボードの活用</p>	 <p>どこにバウンドすると捕りやすいか、練習で試してみよう。</p>  <p>味方が捕りやすいバウンドの高さや位置はどこだろう。</p> <p>味方との中間にバウンドすると思います。</p>  <p>高さはどこをねらうといいか、友だちのプレーを見てみよう。</p> <p>バウンドが捕りやすい位置に自分から動こう。</p> <p>味方の肩や顔にバウンドがくるようにコントロールしよう。</p>
整理	<p>④「ふり返りタイム」の設定</p> <p>自己評価 他者からの評価</p> <p style="background-color: #e0ffe0; padding: 2px;">学習カードの活用</p>	 <p>めあて 味方がとりやすいバウンドの位置や高さでボールをつなぐことができる。</p> <p>かんの高さ</p> <p>味方の向きを味方の中間を味方の顔にバウンドをおこせる</p>  <p>味方に捕りやすいパスができました。肩のあたりにパスがきて、取りやすかったです。</p> 